

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
本社入札監視委員会（第24回定例会）審議概要

開催日及び場所		令和8年8月24日（月） 東京工事事務所 5階会議室	
委員		西村万里子（大学教授） 内田清人（弁護士） 西岡英俊（大学教授）	
審議対象期間		令和7年10月1日～令和8年3月31日	
工事	抽出案件	件数 0件	(備考)
		発注なし	
役務	抽出案件	件数 1件	
	公募手続方式	北海道新幹線、共用区間高速化に向けた信号確認試験	
物品等	抽出案件	件数 1件	
	一般競争入札方式	Microsoft 365 ライセンスの調達	
高落札率契約	抽出案件	件数 1件	
	簡易公募型競争入札方式	北海道新幹線、319k1・札幌車両基地間電車線路設備設計	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問	回答
		別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	

別紙（役務）

	意見・質問	回答
1	参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約方式 「北海道新幹線、共用区間高速化に向けた信号確認試験」 ① 当該試験を当初契約に含めずに、このような形で別途発注したのはなぜか。 ② なぜ特命随意契約ではなく、参加者の有無を確認する公募手続きを行ったのか。	① 当該区間の速度向上については、国土交通省や有識者の助言を得つつ作成された試験計画に基づき、段階的かつ部分的に実施してきたという経緯があり、当初契約の段階においては、今回の試験内容を契約内容に反映することは困難であったと考えている。 ② 特許技術が必要な場合など、確実に特定の者しか履行できない場合は、公募を経ずに、特命随意契約により相手方を決定することとなるが、本役務の履行には特許の必要はなく、また、JR 東日本が運用しているイーストアイのような試験車両で測定する場合のほか、測定専門の事業者であれば、通常業務の一環として測定を実施できる可能性があるため、より門戸を広げるという意味で公募を行った。

別紙（物品等）

	意見・質問	回答
1	一般競争入札方式 「Microsoft 365 ライセンスの調達」 ① 過去に同様の事例があり、契約金額を公表しているとのことであるが、Microsoft365 のライセンスの単価や予定価格は横ばいで推移しているのか。 ② Microsoft365 ライセンスの調達では、競争性が働きにくい状況にあるのか。	① 単価は横ばいではなく、微妙に変わっている。予定価格についても、複数の事業者から参考見積を徴取し、その最低価格を採用していることから、必ずしも一定であるとは限らない。 ② 機構では過去からワードやエクセルなどの Microsoft 社製のソフトで資料作成しており、互換性の問題があるため、引き続き Microsoft365 を使うこととなる。また、応札する事業者も Microsoft から仕入れて機構にライセンスを販売する形をとっているため、供給元が 1 社の状況になっている。

別紙（高落札率契約）

	意見・質問	回答
1	簡易公募型競争入札方式 「北海道新幹線、319k1・札幌車両基地間電車線路設備設計」 ① 主任技術者に加え、照査技術者についても同種役務の経験を求めた理由はなにか。また、機構ではこのような要件設定は一般的なのか。 ② 電車線路設計の発注頻度は比較的高く、一定の市場規模があると認識しているが、なぜ今回は1者応札となったのか。 ③ そうであるならば、高落札率の要因として、「業務受注増により、当該案件を受注する余力がある事業者が少なかったと推測される」の項目も審議資料に記載しておくべきではないか。	① 照査技術者は設計成果物の品質等を確認する立場にあり、その内容の妥当性を判断するためには同種役務の経験が必要である。また、主任技術者についても、設計業務の指揮・管理を行うため、同種役務の経験が求められる。なお、照査技術者に同種役務の経験を求めることは、機構の発注において一般的な取扱いである。 ② 改修や小規模な新設など、鉄道事業者から毎年コンスタントに発注はあると認識している。また、機構としても、過去の発注時には3～4者程度の応募実績がある。一方で、今回1者応札となった要因としては、機構と鉄道事業者の発注が同時期に重なったため、事業者側に配置予定技術者の捻出が困難な状況が発生したものと思われる。 ③ ご意見のとおり記載することとする。

別紙（その他）

	意見・質問	回答
1	工事、役務、物品等の全体審議 なし	
2	高落札率契約の全体審議 なし	
3	一定規模以上の取引関係を有する法人との契約の全体審議 なし	
4	その他 なし	